

秋田県非破壊検査技術研究会

本研究会について

会長 佐々喜興業(株) 代表取締役 佐々木 一喜

目的 非破壊検査技術に関する研究を行い、技術水準の向上普及を図り、工業の発展に寄与することを目的とする。

経緯 研究会設立の発端は、昭和50年頃、東京都で建築鉄骨の溶接不良が社会問題となり、本県の鉄骨業界も超音波検査技術者の育成を迫られました。そこで、業界と当時の工業試験場が協議し、昭和52年7月に工業試験場を事務局として、「秋田県非破壊検査技術研究会」が会員数38で発足しました。

主な活動内容

現在の主な事業は、総会、講習会、講演会、事例・研究発表会、工場見学会です。講習会は、日本非破壊検査協会が年2回春秋実施している認定試験に合わせた、UTレベル1、レベル2の座学及び実技講習を実施しています。また、会員企業が抱えている種々の技術課題に具体的に対応し、解決方策や新技術の開発等を促進するため、平成17年度から有志からなる技術向上委員会を発足して活動しています。

会員数・有資格者数の推移

年度	正会員	賛助会員	特別会員	計
昭和52年（設立時）	34	4	0	38
平成8年（20周年）	62	3	8	73
平成18年（30周年）	46	3	10	59
平成28年（31周年）	44	3	8	55
令和3年（40周年）	43	3	7	53

年度	超音波探傷(UT)				放射線(RT)			磁粉探傷(MT)			浸透探傷(PT)		
	1種	2種	3種	鉄骨	1種	2種	3種	1種	2種	3種	1種	2種	3種
昭和53年	0	7	1	0	0	8	1	0	2	0	0	4	0
	8				9			2			4		
平成8年	43	50	5	17	3	4	1	1	3	0	2	5	0
	115				8			4			7		
平成18年	29	36	5	17	0	4	1	0	4	0	5	8	0
	96				5			4			13		
平成28年	43	56	10	36	0	10	1	1	11	1	12	36	2
	145				11			13			50		

設立40周年記念



秋田県非破壊検査技術研究会
設立40周年記念祝賀会

